

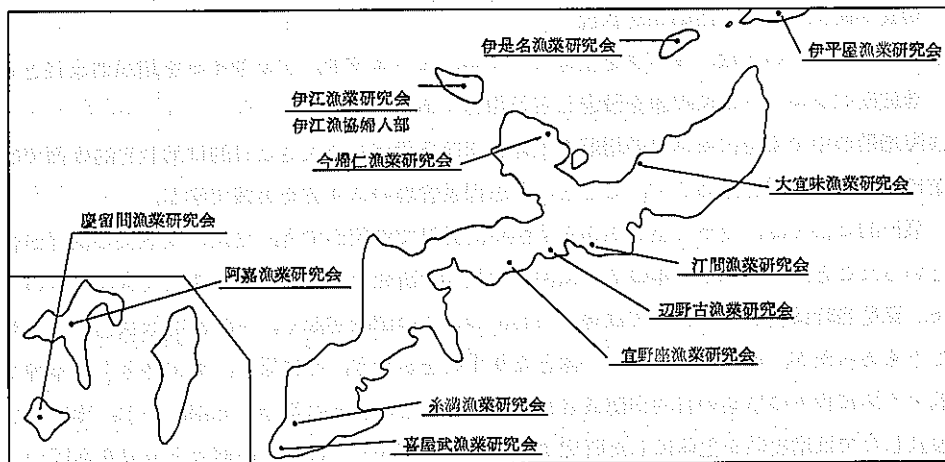
# I 普及活動実施状況

## 1. 研究グループ活動指導状況

普及活動を実施するに当り、その方法として広域指導とモデル地域を設定した高密度指導のどちらがより効果的な普及活動が展開できるかを発足1年目に考え、模索しつつ活動してきたが、現場は我々普及員が考えているほど甘くはなく、2つの指導方法とも十分に把握できない状態で1年をすごす結果になった。

そういった状況の中で、じかに、我々普及員が、「はだ」で感じたことは、現体制の中では、広域指導は普及効果が期待されないということが分かった。したがって、最適方法は、高密度指導がより効果的ではないかと判断し、2年目を以降は研究グループを主体にした普及活動を展開している状況である。これから記述することは、漁船漁業関係、増養殖関係の研究グループ活動指導状況の一端を紹介する。(表-1は研究グループ設置状況、表-2は研究グループの活動状況を示した。)

表-1 沖縄本島及び離島地域研究グループ設置状況



研究グループ名	グループ員数	住所	会長名	漁協
宜野座漁業研究会	11	宜野座村漢那2262-19	伊 芸 維 三	
伊是名 <sup>ウモメク</sup> 研究会	57	伊是名村字伊是名3367-1	東 江 竹 蔵	伊是名漁協
伊平屋 <sup>ウモメク</sup> 研究会	48	伊平屋村字島尻1765-19	宮 城 千代松	"
伊江漁業研究会	20	伊江村川平279	下 門 吉 勝	伊江漁協
伊江漁協婦人部	60	伊江村川平489	内 間 ハ ル	"
大宜味漁業研究会	12	大宜味村字宮城13	辺士名 朝 利	羽地漁協
今帰仁漁業研究会	10	今帰仁村運天28	古宇利 春 夫	今帰仁漁協
江間漁業研究会	12	名護市江間24	勢 頭 樽 吉	名護漁協
辺野古漁業研究会	12	名護市辺野古46	島 袋 蒲 戸	"
糸満漁業振興会	22	糸満漁協内	上 原 信 吉	糸満漁協
喜屋武漁業研究会	15	糸満市喜屋武	富 里 武 雄	"
阿嘉漁業研究会	12	座間味村字阿嘉143	金 城 英三郎	座間味漁協
座間味漁業研究会	11	座間味村字座間味108	大 村 長 平	"

表-2 研究グループの報告会及び総会の開催状況

年月日	場所	内 容	参加人員
48年6月1日	伊平屋村	研究会活動報告会と課題検討会	25
49年4月24日	大宜味村	研究会活動報告会	20
49年5月20日	座間味村	同上	40
49年6月3日	糸満市	報告会と研究会第1回総会	25
49年6月27日	伊是名村	研究会活動報告会と課題検討会	30
49年7月10日	伊江村	漁協婦人部発表会と第3回通常総会	60
49年7月24日	宜野座村	報告会と研究会第1回総会	25
49年7月26日	名護市(汀間)	同上	30

(1) 増養殖研究グループ活動指導状況

浅海増養殖については、モズクを主体に、ウニ、ヒトエグサ、アオリイカを増殖対象種として選定し、地域研究グループ別に課題を設定し普及指導にあっている。

浅海増殖の中でも特にモズクの増殖を主体に課題を設定した大きな目的は①教育的な面では、栽培漁業についての認識を深めさせ、ことと、資源保護管理のあり方を実践で学ぶ。

(2) 経済的な面では、簡単に金がかからず短時間労働で作業ができ、また、採取後の保存が容易であるといったことから昭和47年の7月に沖縄で最初の研究グループを宜野座村大久保において発足させた。発足当時は投石事業については普及事業についての認識が薄く、一時は解散状態にまでおちいったこともあったが、専技、普及員が一体となり「石をかつき、船に乗り、海に潜り」の精神で投石を繰返すうちに我々の事業の目的が認識されるようになった。その影響で北部、中部、南部及び離島にも波及し今では増養殖を主体にした研究グループが8グループにも及び着々と成果をあげつつある。そういった状況の中で49年度はモズクの価格暴落により各研究グループとも意欲を失ない、同時に、我々普及員への風あたりも強くグループ指導に支障となっている。したがって、50年度以降は採取後の原料処理方法の改善と販路の面を主体に各関係機関との連携を取りながらグループ指導に当たる考えである。

以上が浅海増養殖面からみた普及事業の一端を紹介したが、何分始まったばかりの事業であるため充分な活動までには至っていない。

2. その他の活動状況

(1) 漁業懇談会の開催

普及事業は対話の中から生まれるという基本的な考え方に立って、表-3に示されるような内容について、漁業者とのコンセンサスを深めながら、「フンイキ」づくりを大きな目的として実施した。(以下表-3の通りである。)

表-3 漁業懇談会の開催状況

年 月 日	場 所	内 容	参加人員
47年7月20日	宜野座村	グループ活動と投石事業について	15
47年7月25日	恩納村	同上	20
48年4月18日	伊江村	普及事業とグループ活動について	30
48年5月30日	伊平屋村	同上	30
48年6月1日	座間味村(阿嘉)	グループ活動と投石事業について	30
48年6月20日	伊是名村	普及事業とグループ活動について	40
48年7月5日	座間味村(慶留間)	グループ活動と投石事業について	25
48年7月15日	今帰仁村	普及事業とグループ活動について	20
48年8月8日	大宜味村	同上	15
48年9月13日	名護市(汀間, 辺野古)	同上	25
49年5月3日	糸満市(喜屋武)	同上	40
49年6月25日	沖縄市	普及員と漁業者との関係について	40
49年9月10日	国頭村	同上	30
49年10月10日	糸満市	同上	35
49年10月11日	具志頭村	普及事業とグループ活動について	35
49年11月8日	知念村	同上	40

漁業懇談会の前後には映写会を実施し水産業の啓蒙普及を図った。

〔映画の題名〕

- (イ) 日本の沿岸漁業 (ロ) 魚のふるさと (ハ) 水産増養 (ニ) 南海にいどむ  
(ホ) 北洋独航船

(2) 科学装備講習会の開催

従来の「カン」による漁業から科学的漁業への認識を深めさせる目的で実地操作講習会を表-4に示される内容について実施した。

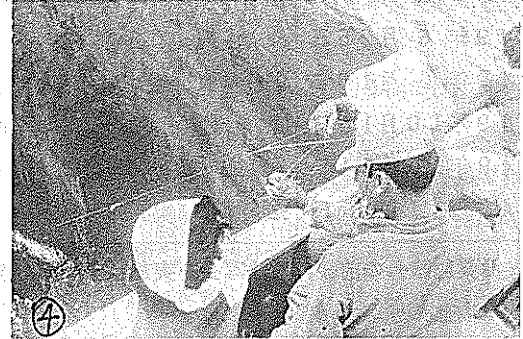
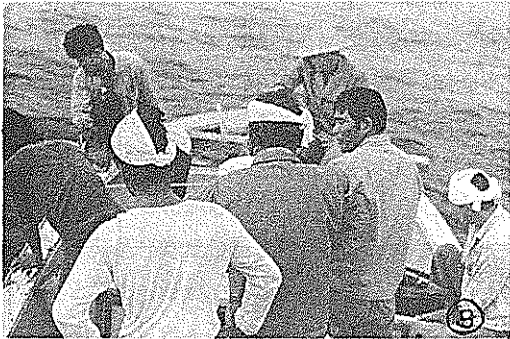
表-4 科学装備講習会の開催状況

年 月 日	講 師 名	場 所	講 師 内 容	参加人員
48年10月5日	古野電気	伊江漁協	魚探, ロランの取り扱いについて	15名
" 10月20日	同上	糸満漁協	ロランの取り扱いについて	11
49年10月7日	同上	名護市汀間	魚探の取り扱いについて	10
" 10月21日	同上	沖縄市漁協	魚探, ロラン, 無線電話の取り扱い	40
" 11月8日	同上	知念村	同上	40
50年1月25~26日	同上	伊江漁協	無線電話の取り扱い	25
" 3月29, 31日	同上	糸満漁協	魚探, ロランの取り扱いについて	26

まとめ：瀬底正武



ヒトエグサ種付け作業風景（伊江漁協婦人部）



新漁具試験操業（伊江漁協研究会）

（研究グループ活動状況）

研究グループ名	活動内容	実施時期	実施回数	実施場所
1	ヒトエグサの生育状況調査	5月～7月	3回	伊江漁協事務所
2	新漁具の操業試験	6月～8月	2回	伊江漁協事務所
3	漁具改良の検討	7月～9月	2回	伊江漁協事務所
4	漁具改良の実験	8月～10月	2回	伊江漁協事務所
5	漁具改良の検証	9月～11月	2回	伊江漁協事務所
6	漁具改良の普及	10月～12月	2回	伊江漁協事務所

以下に掲載していません